

## 第 25 回沖縄振興審議会意見

株式会社カルティバイト 開（比嘉）梨香

## 1. 人材育成分野について

## ○沖縄の強みを活かした国際交流事業の体系化と戦略的継続

地政学的な強みのみならず、アジア各国との交易の歴史、世界中に 40 万人といわれる血縁ネットワークを持つ沖縄だからこそできる、国境、人種、言語、宗教等を超えた繋がりを継続的・発展的に活かすための仕組みづくりが必要である。

## 事例 1 「アジアユース人材育成プログラム 2014」：万国津梁育成基金事業

## 1. 事業目的

日本国内及び ASEAN 諸国を中心としたアジア 13 カ国の若者が、沖縄に一堂に会し、地球規模の環境問題を学び合い、優れた科学や技術を経験することによって、次世代のイノベーションを担う人材育成を図る。19 日間にわたる共同生活のなかで、国境と文化を超えた相互理解を深めて友情を育み、人的ネットワークを形作ることにより、沖縄県が目指す「沖縄 21 世紀ビジョン」の「世界に開かれた交流と共生の島」の実現に資することを目的に実施する。

## 2. 参加青年について

アジア各国と県外、県内から高校生を対象に募集。今年は 55 名が参加

## (1) アジアからの参加青年 27 名

- ① ブルネイ・ダルサラーム国、②カンボジア王国、③中華人民共和国、④インド
- ⑤インドネシア共和国、⑥大韓民国、⑦ラオス人民民主共和国、⑧マレーシア、⑨ミャンマー連邦、⑩フィリピン共和国、⑪タイ王国、⑫ベトナム社会主義共和国、⑬東ティモール民主共和国

## (2) 県内参加青年 14 名

- ①沖縄尚学高等学校 3 名、②興南高等学校 1 名、③向陽高等学校 5 名、④那覇高等学校 1 名、⑤那覇国際高等学校 2 名、⑥宮古高等学校 2 名

## (3) 県外参加青年 14 名

- ①愛知県、②青森県、③岡山県、④神奈川県、⑤京都府、⑤栃木県、⑦富山県、⑧兵庫県、⑨福島県、⑩北海道、⑪山形県、⑫山口県

## 3. 期間 平成 26 年 8 月 4 日(月)から 8 月 22 日(金)までの 18 泊 19 日

## 事例 2 「ウチナージュニアスタディ事業 2014」：県単事業

## 1. 事業目的

沖縄県の海外移住者子弟を本県に招待し、県内の同年代の青少年と生活をともにしながら沖縄の歴史や文化等を学ぶことにより、海外移住者子弟の母県・沖縄への理解と絆を深めるとともに、世界ウチナーネットワークを担う次世代を育成する。

## 2. 参加青年について

海外沖縄県人会と沖縄県内から 12 才以上 20 才未満の高校生相当 33 名

- 海外参加者 15 名  
ボリビア 3 名、ブラジル 2 名、ペルー 1 名、メキシコ 1 名、アルゼンチン 2 名、カナダ 1 名、アメリカ 2 名、マレーシア 1 名、韓国 1 名、ドイツ 1 名
- 県内参加者 15 名
- 青年リーダー 2 名  
過去に沖縄県で実施した本件事業に参加したことのある 18 才から 30 才の青年から、海外・県内より 1 名ずつを招聘。

3. 期間 平成 26 年 8 月 3 日(日)から 8 月 9 日(土)までの 7 日間

### ○離島県の特性を活かした教育システムの確立

広大な海域に点在するがゆえに、交通インフラや通信インフラに格差がある小規模離島は教育の機会均等が享受できていない。離島・遠隔地に特化した教育研究機関をつくることを視野に入れ、離島教育の格差是正のための調査研究を図る必要がある。

また、人材育成も含めたシステムを構築することは、同様の環境を有する地域へも貢献できている可能性がある。